港区まちづくりビジョン（素案）～「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち　港区」をめざして～【概要版】

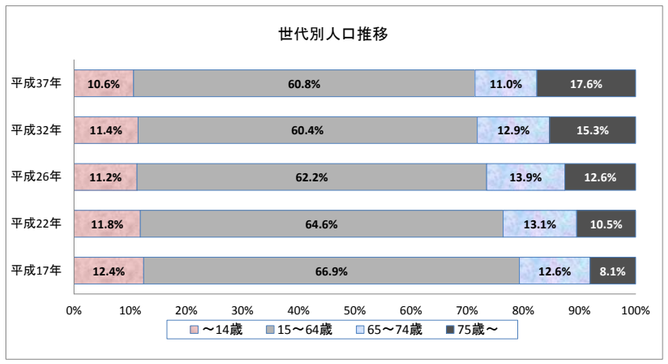
このビジョンは、港区がめざすべき平成 31 年度の姿（将来像）と、その実現に向けたまちづくりの方向性を明らかにしたものです。

港　区　の　特　性　と　課　題

少子高齢化

港区の人口は平成27年時点で約８万２千人で、市内 24 区の中では 18 番目となっています。今後、人口の減少が見込まれています。

今後、少子高齢化が進むことが見込まれることから、元気な高齢者がいきいきと地域で活動し、介護や支援を必要とする高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことのできる環境づくりとともに、子どもの学びと子育て世代を応援するまちづくりが重要になっています。

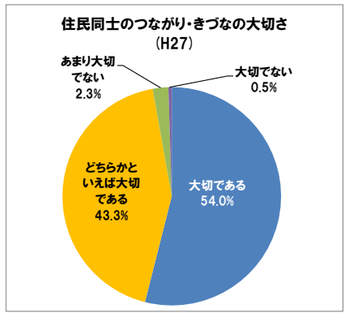


資料：平成 17 年、22 年は総務省「国勢調査」、27 年以降は大阪市政策企画室の推計数値

地域コミュニティ

港区は、住民どうしのきずなや助け合いの気持ちが強く、地域活動が活発です。平成 24 年度に全小学校区で地域活動協議会が結成されて以降、地域への幅広い住民の参画が広がりつつあり、地域の実情にあった活動が展開されています。

しかしながら近年、少子高齢化や核家族化が進むなか、地域活動の担い手が高齢化し、後継者不足が生じているほか、大型マンションの建設等で新たな住民が増加し、町会への加入を望まない人も増えるなど、コミュニティ意識の希薄化が懸念されています。



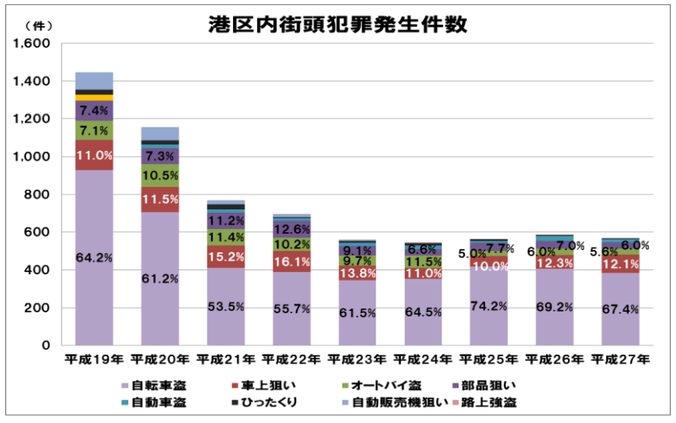
【地域活動に参加している】

資料：平成 27 年度第2回区民モニターアンケート

まちの安全・安心

港区は三方を海と川に囲まれており、津波や高潮の被害を受けやすい地勢にあります。津波を伴う海溝型地震への対策のなお一層の強化を急ぐ必要があります。

また、港区は街区がわかりやすく平坦で、自転車があれば大変便利に生活できるまちです。一方で、自転車が関係する事故が多く発生するとともに駅周辺を中心に放置自転車も数多く見られ、無施錠の盗難も多いことから自転車の適正利用を促進する必要があります。

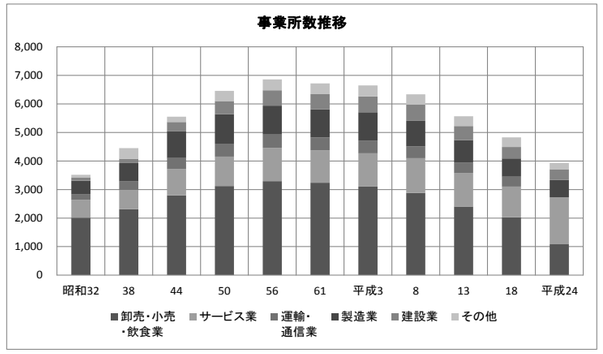


資料：大阪府警

まちのにぎわい

区内東部の弁天町は交通の結節点であり、文化、商業、娯楽機能が集積しています。中央部には八幡屋公園や大阪市中央体育館、大阪プールがあります。西部の築港地区は「海遊館」をはじめ、日本一低い山「天保山」、世界第一級のクルーズ客船が入港する天保山岸壁など、歴史・文化・観光資源に富んでいます。

区内には卸売・小売業の事業所や飲食店が多く立地していますが、その数は年々減少しています。地域の魅力ある資源を活かすなど、まちのにぎわいを生み出し、地域経済の活性化を図る必要があります。



資料：総務省「事業所統計調査」（S32～Ｈ３）、「事業所・企業統計調査」（Ｈ８～H18）

港　区　の　将　来　像

歴史が育んだ、港区民のＤＮＡともいえるつながりの強さや、築港が持つ潜在的な地域の魅力など、港区の「強み」を活かすとともに、三方を海と川に囲まれ、高潮や津波に弱いといった地理的な「弱み」を克服して、次の５つの柱により、今後のまちづくりを進め、「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち　港区」をめざします。

【まちづくりの５つの柱】

1. 区民主体のまちづくり
2. 安全・安心・快適なまちづくり
3. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり
4. 「こどもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり
5. 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

区民主体のまちづくり

〇豊かなコミュニティの促進
①人と人とが出会いつながる機会の提供
②地域における広報活動の支援　など

〇多様な主体の協働の推進
①企業や団体等さまざまな活動主体の交流の促進
②多様な主体による地域活動を促進する人材（地域公共人材）の育成・活用　など

〇自律じた地域運営の支援
①「地域活動協議会」の自律的運営の支援
②地域課題解決に向けた積極的取組支援
③コミュニティ・ビジネスの促進　など

健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

〇　地域福祉の推進
①地域福祉活動の促進
②地域で身近に相談できるしくみづくり
③住民同士でサポートできるしくみづくり
④認知症支援ネットワークの充実　　など

〇　地域包括ケアシステムの構築
①在宅医療・介護連携の推進
②「新しい総合事業」の実施　など

〇　セーフティーネットの充実
①高齢者、障がい者、子育て家庭等に対する相談機能の充実
②複合化する福祉課題への対応力の強化
③生活困窮者対応の充実　　など

〇　健康寿命の延伸
①健康づくりに向けた意識啓発と担い手づくり
②がん検診や特定健康診査の受診率の向上　など

〇　多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進
①さまざまな人権課題に関する啓発・相談　　など

「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち　港区」の実現に向けた

まちづくりの５つの柱

「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり

〇　「子どもの学び」を応援
①分権型教育行政の推進
②子どもの学力・体力の向上
③子どもの教育環境の向上　　など

〇　「子育て世代」を応援
①低年齢児保育所入所枠の確保
②多様な保育サービスの充実
③気軽に子育ての相談ができる環境の整備
④子育て支援及び子ども関係情報の発信　なそ

安全・安心・快適なまちづくり

〇　防災対策の強化
①地区防災計画に基づく主体的な取組の推進
②災害時避難行動要支援者対策の推進
③区災害対策本部と地域本部等との迅速・的確な情報連絡体制の確立
④防災意識の継続的な啓発　　など

〇　防犯対策の強化
①警察と連携した犯罪発生状況の分析に基づく臨機かつ機動的な防犯対策の強化
②各地域の防犯行動計画に基づく自主防犯活動の支援
③子どもを犯罪から守る取組の強化
④警察等と連携し、区民への防犯知識の普及・啓発の実施　など

〇　歩行や移動の安全性の確保
①自転車利用マナーの向上
②バリアフリーの推進

訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

〇　まちの魅力の発信
①港区の魅力発掘・創出
②港区に住む魅力の発信　　など

〇　地域資源を活かしたまちの活性化
①商工業者へのビジネス機会の提供
②　地域や事業者等と連携した商店街による取組を支援　など

〇　築港地区のにぎわいづくり
①観光施策と連携した魅力あふれるまちづくりの推進　など

〇　まちづくりに向けた行政資産等の活用
①遊休地や資産の活用　　など